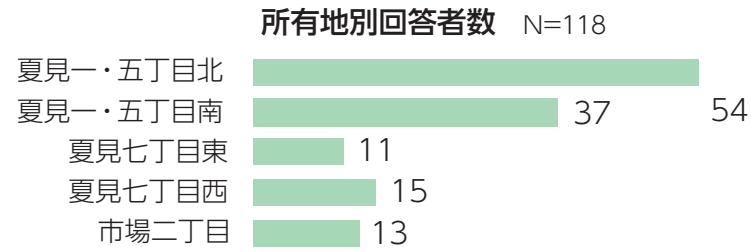


まちづくりに関するアンケートの集計結果

海老川上流西部地区の地権者を対象に、令和元年7月12日(金)から7月25日(木)の期間、まちづくりに関するアンケートを実施した結果概要を報告します。

● アンケートの実施概要

- ・配布数302部
- ・回収数(率) 118部 (39.1%)
- ・所有地は夏見一・五丁目が約8割を占めています

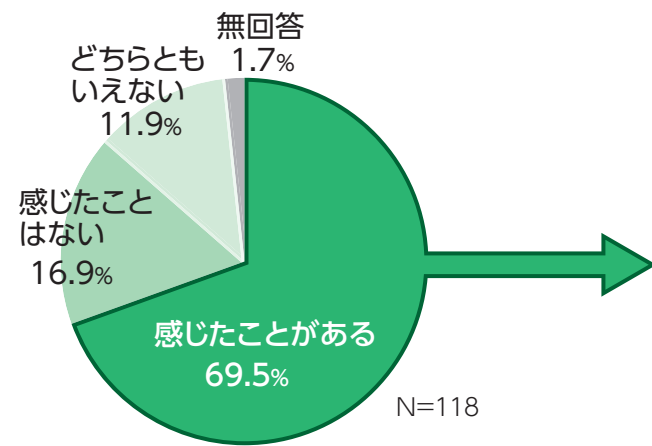


※区域をまたいで土地を所有する地権者は重複して計上している

● 土地利用に対する印象

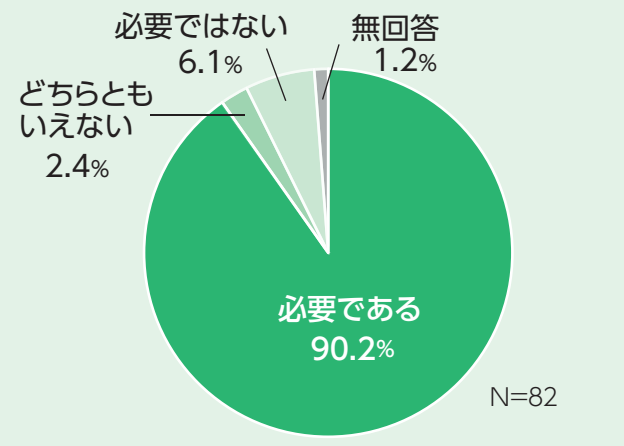
① 土地利用混在の進行に対する実感

土地利用の混在が進行していると感じている割合は約7割を占めています。



② 土地利用の混在に対する対策の必要性

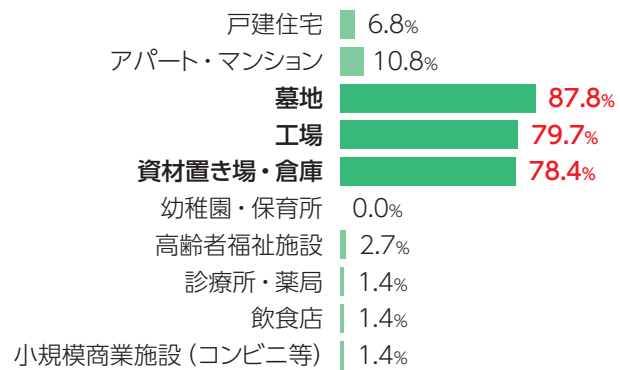
(左記①で「感じたことがある」と回答した方が対象)
土地利用の混在に対する対策が必要であると感じている割合は約9割を占めています。



● 望ましくない施設、困っていること

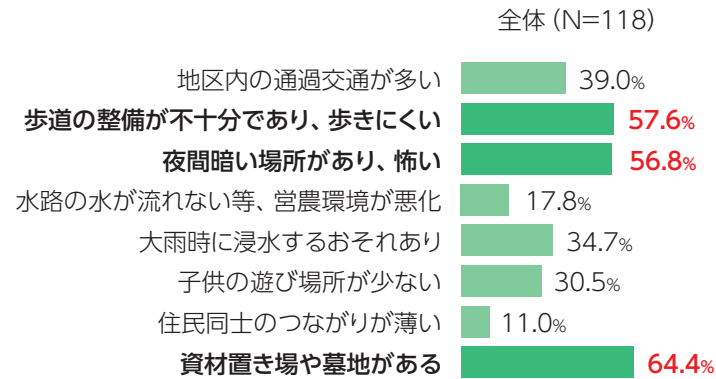
① 地区内立地が望ましくない施設

墓地、工場、資材置き場・倉庫の3施設が望ましくないとしている割合は約8割を占めています。



② 困っていること

「歩道の整備が不十分」、「夜間暗い場所がある」、「資材置き場や墓地がある」ことが困っていることとして過半数を占めています。



お問合せ

船橋市 都市計画部 都市政策課 まちづくり推進係

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25

TEL 047-436-2523 FAX 047-436-2544

E-mail: tosomu@city.funabashi.lg.jp

海老川上流西部地区 まちづくりだより 第4号

9月8日に開催した『第2回まちづくりワークショップ』の結果を報告します

令和元年9月8日に開催した『第2回まちづくりワークショップ』の結果を報告します。

● 開催概要

日 時：令和元年9月8日(日) 10:00～12:00
会 場：視聴覚センター
参加者：7名



● 今回のワークショップの目的

- ・まちづくりの方向性に関する意見出し
- ・まちづくりを実現するための取組に関する意見出し

● 今回のワークショップの議事

第1部 情報提供

- ・前回ワークショップの結果について
- ・まちづくりに関するアンケートの集計結果について
- ・海老川上流西部地区の課題と方向性について

第2部 グループ討議

- ・グループ内での議論
- ・発表・全体意見交換

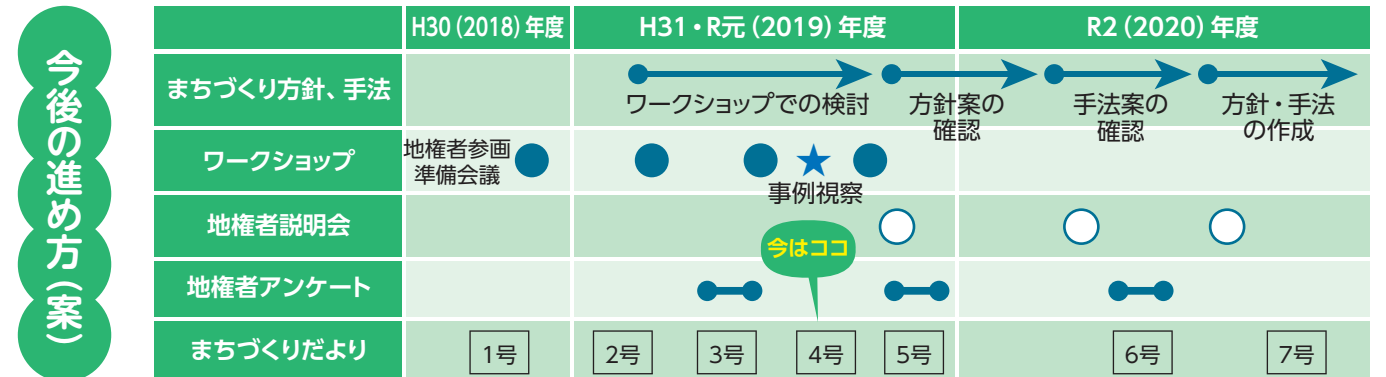
今後の予定

● まちづくり検討の進め方

令和元年度はワークショップにより、まちづくりの方向性を確認し、令和2年度はその方向性に基づき、地権者説明会を通じてまちづくりの方針と手法を作成する予定です。

鹿嶋市に事例視察に行きました

令和元年10月6日(日)に茨城県鹿嶋市へ、「市街化調整区域の地区計画」の事例視察に行きました。(参加者5名)



次回ワークショップは **11月17日(日)** に開催する予定です。

第2回まちづくりワークショップの主な意見

今回のワークショップにおける主な意見を下表に整理するとともに、具体的な場所が分かる意見については右の地図上に「第2回まちづくりワークショップの主な意見(実態と方向性)」として示します。

項目	主な意見	
まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅が緩やかに増えるのは構わないが、農業をしやすい環境を維持して欲しい。 ● 農業の継続を希望しない人のため、農地を宅地化しやすくすべき。 	
分野別実態	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業を継続できなくなっても、空間として農地を残すため、例えば公園等として継続的に活用してもらえる先があると良い。農家間での土地のやり取りは難しいため。 ● 稲作が行われていないため、水路の用地を歩行者空間などに活用できないか。 ● 資材置き場は暫定的な利用方法なので、宅地化が進めば無くなっていくのではないか。
	交通	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来、住宅地になったときに、道路をどう通していくのかは重要。 ● 歩行者と自動車の動線は分けた方が良くはないか。
	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たに住む場合は、農地からホコリが飛ぶことなどは承知しておいて欲しい。 ● 適度に空地があること、農家との関わりで家庭菜園やお裾分けを頂けるなど、農地があることで暮らしやすい面もある。
まちづくり手法等	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりの手法は、地権者からどれだけ合意が得られそうかを踏まえて設定すべき。 ● まちづくり手法(まちづくり協定、地区計画、土地区画整理事業等)に対して何が必要か示して欲しい。 ● 本ワークショップでの提案を、要望書として市に提出することも考えられる。 	

● 参考：海老川上流西部地区のまちづくりのテーマと基本的な考え方(案)

■ 海老川上流西部地区のまちづくりテーマ(案)

農と自然の中に暮らしが息づくまちづくり

・海老川上流西部地区は市街化調整区域であることを踏まえて、農業と自然環境を大切にしつつ、既に住んでいる住民が豊かな暮らしを享受できるまちづくりを目指します。

■ まちづくりの基本的考え方(案)

- ① 農業や自然を大切に、地域環境の保全と育成を進めます。
- ② 海老川沿い遊歩道と海老川調節池や周辺の公園をネットワーク化し、豊かな自然環境を享受できる健康的な地域を目指します。
- ③ 生活環境の悪化を防ぎ、コミュニティが息づくまちを目指します。

※この案は、ワークショップ参加者の方々が意見を出しやすいように事務局が仮に作成したものであり、今後地権者のみなさまの意見に基づき作成されるものです。

● 第2回まちづくりワークショップの主な意見(実態と方向性)

